

ARTS for HOPE

宮城支局活動報告書 2017年3月8日

「名取市 雇用促進住宅」

Happy Doll Project

1年ぶりに名取市の雇用促進住宅へ3回目の訪問しました。参加して下さった皆さまは前回にハッピードールを作ったことがある方で、笑顔の再会を交わす。「あの時はクジラを作ったの～！覚えてくれて嬉しい！」「前は猫を作ったね」等、前回のハッピードールを作った思い出話を笑顔で語ってくれました。

雇用促進住宅の使用制限は、来年3月で、現在は入居者が50世帯程の状況。夏ごろには、半分位が雇用促進住宅を出る予定とお話がありました。その後、来年3月には、皆がいなくなる予定とのこと。少しずつ公営住宅へ引越しが進んでいますが、知り合いもなく、集まる場所もない中で「寂しい...」との声を沢山聞きました。

中には切ない、悲しみの話題もありましたが、笑いに変えて今日は楽しもう！と色々な話題が出てとても尽きない。参加して下さった皆さまは、とても仲が良くあだ名で呼び合ったり、冗談を言い合いながらたくさん談笑していて、ユーモアいっぱいな皆様の明るさに私達が元気をもらいました。皆さまにとって楽しい思い出がまた出来たと感じてくださるなら大変嬉しく思います。

皆さまの作ったマスコットを川崎市岡本太郎美術館で展示されたお写真を見せた所、驚きと喜びの声が聞かれ、「私のハートもこれみたいに大きく込めている！」とユーモアで語ってくれて、会場内盛り上がりました。

中には、編み物が得意な方がいて、皆さまとても器用で集中して針縫いされており、似顔絵のリンゴ、お洒落なネコ等、素敵なマスコットがたくさん誕生しました。

「楽しかったよ、また来てください。また会いましょう！」と再会の約束を交わしました。震災から6年。こうやって皆さまが集い楽しい交流を図る機会はとても大事で必要なこと。今後も人々を繋げたり笑顔をお届けに参りたいと思っています。また、笑顔が素敵な皆さんとお会いできる日をとても楽しみにしています。



